



学校だより



No.13

令和7年10月24日
津市立修成小学校

輝く修成っ子

修学旅行に行ってきました。

6年生の修学旅行は、奈良・京都・兵庫を巡る実り多い3日間となりました。

初日は、奈良の東大寺、京都の金閣寺や清水寺といった歴史的な名所を巡りました。ニュースでは混雑が報じられていましたが、幸運にも混雑がなく空いており、順調な行程で歴史を学ぶことができました。また、清水坂の買い物や、旅館で友達と楽しそうに過ごす姿がたくさん見られました。

2日目はキッザニア甲子園でキャリア体験を行いました。ここも空いており、多くのブースで積極的に職業体験に挑戦できました。キッザニアのスタッフの方から、「修成小学校の児童は、皆楽しそうに、そして元気に参加してくれて嬉しい」というお褒めの言葉をいただきました。

そしてなにより、全員が病気やけがもなく安全に過ごすことができ、子どもたちの心に深く思い出が残る2日間になりました。



地域社会との連携で深まる「学びの秋」

ようやく暑さもおさまり、学びに適した時期になりました。様々な校外学習や出前授業を通じて、子どもたちは地域や社会を知る貴重な機会を得ています。

5年生の社会見学では、リサイクルセンターで自動車のリサイクルについて学習し、さらに、鈴鹿サーキットでは、4つの自動車製造のプログラムに分かれ、ものづくりのプロセスや技術を体験的に学びました。また、ユニバーサルデザインの学習やセブンイレブンの出前授業を通して、だれもが安心して生活できる社会のあり方や、社会とのつながりや貢献を大事にしている取組について考えを深めました。

2年生は松生卓球道場、3年生はぎゅーとらを見学させていただき、働く方々の真剣な仕事ぶりや地域に根差した活動を学びました。これらの体験は、地域の人とつながり、自分たちが暮らす地域のことをもっと好きになる機会にもなります。

この「学びの秋」の活動は、今後も3・4年生の社会見学や1・2年生の遠足と続きます。地域との連携を大切にし、教室だけでは得られない「生きた学び」を提供していきたいと思います。ご家庭でも、ぜひお子さんと経験したことや感じたことを話題にし、学びを深めてください。



全国学力・学習状況調査結果から

今年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析したところ、日頃の努力の成果が見られた一方で、今後のさらなる成長に向けて伸ばしていきたい重要な課題も明確になりました。

「国語」では、物語や詩など言語文化に親しみながら学ぶ姿勢が多く見られ、言葉への関心や基礎的な知識の定着には確かな成果が感じられました。一方で、文章の内容を正確に読み取り、要点を整理して自分の考えをまとめる力には課題が見られます。また、相手に伝わるように意見や感想を表現する力や、話し合いの中で要点を押さえて聞き取る力など、「ことばによるコミュニケーション能力」のさらなる育成が今後の重点となります。

「算数」では、身近な数やデータを使って考える学習で意欲的に取り組む姿があり、基礎的な計算力や知識が定着してきています。その一方で、図形の性質を深く考察したり、数量の関係を整理して式や言葉で表現したりする場面に課題が残りました。特に、単位や時間の意味を正確に理解し、計算の意味を考えながら応用する力を、今後の学習で重点的に育てていきたいと思います。

「児童質問紙」の結果からは、友だちと考えを伝え合ったり、自分の考えを工夫して表したりする「対話的な学び」が、まだ十分に広がっていないことが分かりました。こうした「対話的に学ぶ力」は、これからの中学校で求められる思考力や協働性に欠かせない重要な資質です。今後は、授業の中で互いの考えを丁寧に聞き合い、自分の考えを言葉で明確に確かめる活動を充実させていきます。

